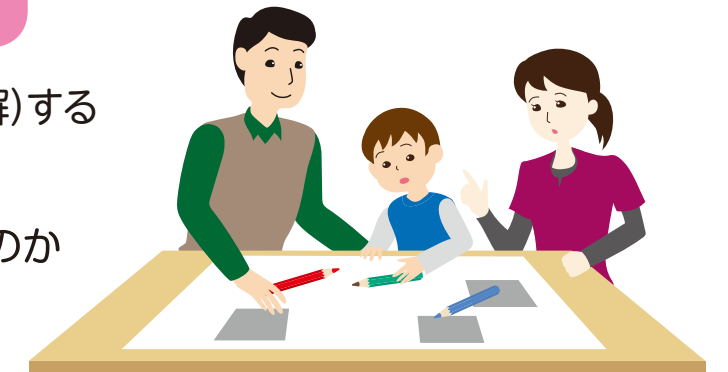


# 家庭での備え

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。(その際、「備蓄及び非常時の持ち出し品の準備」のページを活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。)

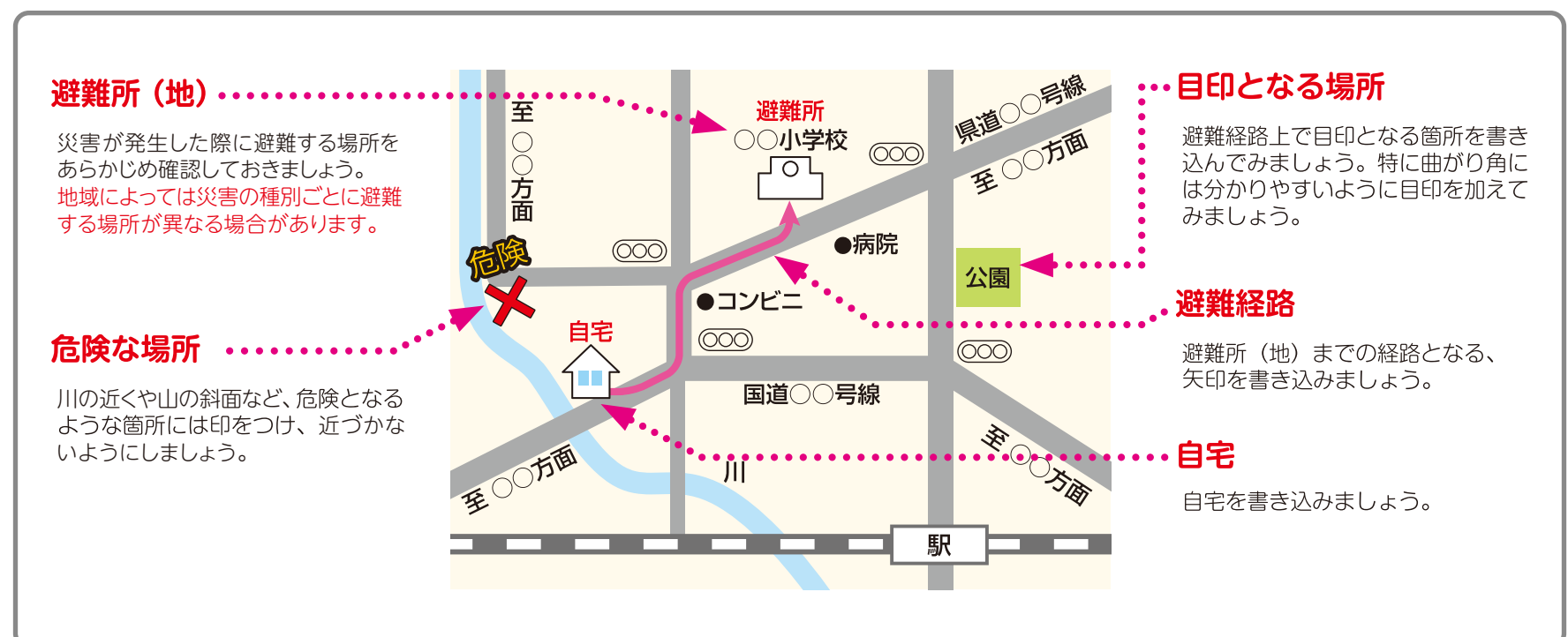
## 家族で話し合っておきたい項目

- あなたが住んでいる場所の災害危険度(リスク)を把握(理解)する
- 安全な避難経路、避難場所、避難所はどこにあるのか
- 家族間の連絡方法と最終的に会う場所はどこにするのか
- 家の中の安全対策
- 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- 避難するとき、誰が何をもち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
- 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- 地域の防災活動に参加しているか
  - 防災研修
  - 防災まち歩きによる地域の自主防災マップ作成
  - 避難訓練等



## 家庭のオリジナルマップの作成

家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難所(地)までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、共有しておきましょう。



## ～いづか防災の発刊によせて～

### ■ 市民の皆様へ

この「いづか防災」は、市民の皆様へ、災害に関する基本的な情報を提供し、事前の備えとして役立てていただくことを目的に作成しました。近年、大規模災害と呼ばれるような大雨や地震が全国各地で発生しており、本市での平成30年7月豪雨による甚大な被害は、記憶に新しいところです。災害はいつ・どこで発生するかわかりません。万が一に備え平常時から「自分の命は自分で守る(自助)」「自分たちの地域は自分たちで守る(共助)」により、災害時には被害を最小限に抑えることができます。

この「いづか防災」は様々な災害に対する知識と備え、並びに本市における災害危険想定箇所(浸水想定区域・土砂災害警戒区域)や避難所(開設種別・災害の種別ごと)などを掲載しており、市民の皆様へ「災害の備え」として広く活用され、ご家庭や地域における防災力の強化に役立てていただきますようお願いいたします。

最後に、この「いづか防災」を通じて市民の皆様と行政が連携・協力し「災害に強いまちづくり」の実現に向けて取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 目次

|                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| ■ 家庭での備え ..... 1           | ■ ハザードマップ⑤ ..... 22 |
| ■ 自主防災組織 ..... 2           | ■ ハザードマップ⑥ ..... 24 |
| ■ 防災対策&チェック ..... 3        | ■ ハザードマップ⑦ ..... 26 |
| ■ 備蓄及び非常時の持ち出し品の準備 ..... 4 | ■ ハザードマップ⑧ ..... 28 |
| ■ 避難情報 ..... 5             | ■ ハザードマップ⑨ ..... 30 |
| ■ 避難時の注意点 ..... 6          | ■ ハザードマップ⑩ ..... 32 |
| ■ 土砂災害 ..... 7             | ■ ハザードマップ⑪ ..... 34 |
| ■ 風水害 ..... 8              | ■ ハザードマップ⑫ ..... 36 |
| ■ 地震 ..... 10              | ■ ハザードマップ⑬ ..... 38 |
| ■ 火災 ..... 11              | ■ ハザードマップ⑭ ..... 40 |
| ■ 避難所・避難場所一覧 ..... 12      | ■ ハザードマップ⑮ ..... 42 |
| ■ 飯塚市全体図 ..... 13          | ■ ハザードマップ⑯ ..... 44 |
| ■ ハザードマップ① ..... 14        | ■ ハザードマップ⑰ ..... 46 |
| ■ ハザードマップ② ..... 16        | ■ ハザードマップ⑱ ..... 48 |
| ■ ハザードマップ③ ..... 18        | ■ わが家の防災 MEMO       |
| ■ ハザードマップ④ ..... 20        |                     |